

令和元年度社会福祉法人さやか  
事業報告書

## 01. 法人の概要

主たる事務所の所在地	山口県山口市平井字宮地952番地10
ふりがな 法人の名称	しゃかいふくしほうじんさやか 社会福祉法人さやか
理事長	立石 彰男

## 02. 法人の行う事業

事業の種類	施設種別
社会福祉事業	第1種 第2種
	就労継続支援B型事業 さやか工房 共同生活援助事業 さやかホーム
公益事業	なし
収益事業	なし

## 03. 役員・評議員等の状況(令和2年3月31日)

理事会/役職	氏名	現就任月日
理事長	立石 彰男	令和元年06月23日
理事	中村 陽子	令和元年06月23日
理事	中田 慎吉	令和元年06月23日
理事	小迫 奈美枝	令和元年06月23日
理事	弘中 和芳	令和元年06月23日
理事	上原 京子	令和元年06月23日
監事	土生 建介	令和元年06月23日
監事	安田 博文	令和元年06月23日

評議員会	氏名	現就任月日
評議員	藤林 玲子	平成29年04月01日
評議員	松澤 直美	平成29年04月01日
評議員	神茂 順子	平成29年04月01日
評議員	北村 るみ	平成29年04月01日
評議員	平野眞由美	令和02年03月22日
評議員	中園ひとみ	令和02年03月22日
評議員	山田 博子	令和02年03月22日

※評議員の定員は7名であるが、経過措置により、平成32年3月までは4名以上としていた。令和2年3月22日の評議員選任・解任委員会で新評議員3名が選任された。

0 4. 評議員選任・解任委員会

評議員選任解任委員	氏 名	現就任月日
監事	安田 博文	平成 29 年 03 月 26 日
外部委員	田中 洋治	平成 29 年 03 月 26 日
職員	山本 都	平成 29 年 03 月 26 日

0 5. 令和元年度理事会開催状況

第 1 回 ; 令和元年 06 月 09 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告</li> <li>2. 平成 30 年度社会福祉法人さやか事業報告</li> <li>3. 平成 30 年度社会福祉法人さやか決算書</li> <li>4. 監査報告書</li> <li>5. 事業報告書、決算書の承認について</li> <li>6. 令和元年度補正予算書について一公用車購入について</li> <li>7. 次期役員候補者について</li> <li>8. 令和元年度定時評議員会の招集について</li> <li>9. 第 2 回理事会の招集手続きの省略について</li> </ol>
第 2 回 ; 令和元年 06 月 23 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定時評議員会の報告、社会福祉法人さやか理事、監事の選任について</li> <li>2. 社会福祉法人さやか理事長の選定について</li> <li>3. 業務執行理事の選定について</li> <li>4. 公用車購入について</li> </ol>
第 3 回 ; 令和 02 年 03 月 08 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職務の執行状況についての報告一理事長、業務執行理事</li> <li>2. さやか工房、さやかホーム実地調査報告について</li> <li>3. さやかホーム勤務体制、加算の変更について</li> <li>4. 就業規則の変更について</li> <li>5. 現育児休業規程、現介護休業規程の廃止 育児介護休業規程の制定について</li> <li>6. 令和 2 年度事業計画案について 事業計画書参考</li> <li>7. 令和 2 年度予算案について 予算書参考</li> <li>8. 新評議員の推薦について</li> <li>9. 評議員選任解任委員会の招集について</li> <li>10. 評議員会の招集について</li> </ol>

0 6. 令和元年度評議員会開催状況

第 1 回 ; 令和元年 06 月 23 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 30 年度社会福祉法人さやか事業報告書</li> <li>2. 平成 30 年度社会福祉法人さやか決算書</li> <li>3. 監査報告書</li> <li>4. 事業報告書、決算書の承認</li> <li>5. 令和元年度補正予算書について 公用車の購入</li> <li>6. 理事の選任</li> <li>7. 監事の選任</li> <li>8. 第 2 回理事会の招集手続きの省略について</li> </ol>
---------------------------	---

第2回； 令和02年03月22日	1. 評議員の選任について一評議員選任解任委員会報告 2. さやか工房、さやかホーム実地調査報告について 3. さやかホーム勤務体制、加算の変更について 4. 就業規則の変更について 5. 現育児休業規程、現介護休業規程の廃止、育児介護休業規程の制定について 6. 令和2年度事業計画案について                      事業計画案参考 7. 令和2年度予算案について                                予算案参考
---------------------	---

07. 評議員選任・解任委員会

第1回； 令和02年03月22日	1. 評議員の選任について
---------------------	---------------

08. 広報活動

①「事業／活動報告」

毎月01日発行
平成31年04月01日発行～令和02年03月01日発行 / 12回発行

09. 就労継続支援B型事業所さやか工房(定員20名)の運営状況

①現況

管理者(施設長)            ; 上原京子 サービス管理責任者：上原京子 職員            ; 05名(管理者・サービス管理責任者含) 利用者        ; 17名(令和2年3月31日)
--

②月別利用人数の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開設日数	22	22	22	23	22	22
利用延人数	359	335	354	371	352	346

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	23	22	23	22	21	23	267
利用延人数	370	346	341	341	334	360	4,209
1日平均利用人数							15.7

③就労支援事業の内容

部品の袋詰め、ウエス加工、ポスティング、印刷物の封入封緘作業、印刷物折り、  
 ちらし差し込み作業  
 染・織製品の制作販売等

④売上額等の実績

(1)就労支援事業収入	総額	2,546,673円	<	2,626,668円	昨 年 度 実 績
	内 下請部門	2,375,771円	<	2,391,758円	
	訳 自社製品	170,902円	<	234,910円	
(2)工賃	賃金総支払額	2,544,990円	>	2,285,870円	
	一人平均月額	12,475円	>	11,205円	

⑤行事／旅行等の実施

上期		下期	
04月06日	新年度式／会食会	11月05日	日帰り旅行 門司港レトロ 海響館
05月28日	日帰り旅行 北長門 土井が浜遺跡	12月24日	クリスマス会
06月16日	運動会	03月27日	納会 さやかで会食

⑥健康診断の実施

\*内科検診

令和元年 09月11日～	基本検診、胸部レントゲン、相談	職員同席
令和02年 03月19日	基本検診、血液検査	施設長同席

\*歯科検診

令和元年 05月21日～	基本検診	職員同席
--------------	------	------

⑦防災訓練の実施

令和元年 06月22日	火災想定、避難訓練	職員3名、利用者15名
令和元年 10月26日	風水害	職員3名、利用者16名
令和元年 11月30日	火災想定、避難訓練	職員3名、利用者17名
令和2年 01月16日	地震想定、避難訓練	職員4名、利用者16名
令和2年 03月13日	地震想定、避難訓練	職員5名、利用者17名
令和2年 03月30日	火災想定、消火訓練	職員5名、利用者16名

⑧休暇

令和元年 08月11日～令和元年 08月15日	夏期休暇
令和元年 12月29日～令和02年 01月05日	冬期休暇

⑨生活・活動支援状況

- イ)生活実習(買物／調理／洗濯) 5回／週実施
- ロ)ボランティア活動(日赤タオル巻き) 1回／週実施
- ハ)余暇活動(お茶御稽古／外出レクレーション) 1回／週実施

10. 共同生活援助事業さやかホーム(定員09名)運営状況

①現況

管理者	；上原 京子
サービス管理責任者	：中村 陽子
職員	；08名(管理者・サービス管理責任者含)
利用者	：02名(令和02年3月31日) 共同生活住居／花束(定員03名)
利用者	：03名(令和02年3月31日) 共同生活住居／大地(定員03名)
利用者	：03名(令和02年3月31日) 共同生活住居／すばる(定員03名)

②月別利用人数の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開設日数	30	31	30	31	31	30
利用延人数	217	218	216	231	222	215

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	31	30	31	31	29	31	366
利用延人数	230	219	224	213	211	224	2,640

1日平均利用人数	7.2
----------	-----

1 1. 利用者支援～保護者面談(サポート会議)～の実施

イ) 全員実施(3ヶ月毎を基本)

ロ) 主な討論内容

- ・ 支援計画書に基づく課題について
- ・ 利用者の健康管理について
- ・ 将来生活プランについて
- ・ 障害特性による個別課題について

1 2. 職員状況

①現況(令和2年3月31日)

上原 京子(施設長)	中村 陽子	永井 京子
田邊 善子	弘中 洋子	原 正枝
山本 都	上原 秀次	白澤 憲子
中原 沙織	末永 チヅコ	
澄川 成子	浦 優美子	

②施設内研修会の実施

令和元年10月19日	成年後見制について 23 成年後見人が決まるまで	講師；藤林玲子
令和2年03月14日	成年後見制について 24 人生100年時代	講師；藤林玲子

③施設外研修会参加

令和元年07月24日 25日	相談支援初任者研修	受講；山本都
令和元年11月12日 13,14日	サービス管理責任者基礎研修	受講；田邊善子
令和元年11月27日	サービス管理責任者更新研修	受講；上原京子
令和元年12月18日	サービス管理責任者更新研修	受講；中村陽子

### 1 3. 会計に関わる事業報告

令和元年度社会福祉法人さやか決算書は別紙のとおりである。

**法人全体としては予算通りの執行ができた。**

当期末支払資金残高は、	29,645,092 円	(前年度 30,688,987 円)
内訳は、本部	12,487,640 円	
就労	1,286,783 円	
さやか工房	14,541,139 円	
さやかホーム	1,329,530 円	

法人の純資産額が 98,299,032 円となった。(前年度 96,883,057 円 )

**さやか工房について、予算通りの執行ができた。**

令和元年度のさやか工房平均利用者数ー 15.7 人

人件費、事務費、事業費ともほぼ予算通り執行できた。公用車の購入も執行できた。

**さやかホームについて、予算通りの執行ができた。**

さやかホームの令和元年度の平均利用人数ー 7.3 人

さやか工房から 4,000,000 円のサービス区分間繰入れをする予算をたて、予算通りの執行ができた。

ホーム 2 棟の建替えのため平成 26 年度に 30,000,000 円を借り入れたが、令和元年度に 3,000,000 円の返済をし、5 年間で全額返済できた。

財政上の課題として、さやかホームの事業運営において、さやか工房から 400 万円のサービス区分間繰入れを成り立っていることについては、令和 2 年度には改善できる見通しができた。夜間支援体制加算の変更、職員の勤務体制の整備を令和元年度にすることができた。

これにより、さやかホームすばるの建て替えをする資金計画をたてることが可能になった。すばるの建て替え、資金計画については今後の課題とする。

～おわりに～

平成 11 年のさやか工房開設から 21 年、平成 17 年 1 月社会福祉法人さやかの設立から 15 年の月日が経ちました。

さやかの歩みとして、第一次 10 年計画は（平成 11 年～）、障害者のトータルな人生を支援できる組織作りを目標とし、自主運営 2 年間、NPO 法人障害者とともに歩む会さやかの活動 3 年間を経たのち、社会福祉法人を設立しました。

第二次 10 年計画は（平成 21 年～）親なき後も障害者の生活を支えることのできる組織強化を目標としました。就労継続支援事業、共同生活援助事業の 2 事業を展開しました。利用者も増え、事業に必要な土地建物を法人所有とし、財政の安定をはかりました。

平成 31 年度はいよいよ第三次 10 年計画（平成 31 年～）へ入りました。法人組織の世代交代、後継者作りを課題とし、「共に生きる、共に歩む」というさやかの理念を、継承、体現できる組織体制の確立をすすめていきます。（平成 31 年は 5 月 1 日から令和元年となりました。）法人の事業経営においては、安定した経営ができました。大きな課題である、法人組織の世代交代、後継者作りについては、熟考し、慎重にすすめていきたいと思えます。法人として何をすべきなのかを考えると、その拠り所にあるのはいつでも、利用者にとって何が大切なのかということです。

この先ますます、障害者の高齢化、障害の重度化は重要な課題となります。利用者にとって、年をとって仕事ができなくなったら、就労継続支援 B 型事業所

から生活介護事業所にかわればよい、というような単純な振り分けは現実的ではないと思います。利用者にとって、なじんだ仲間との親愛関係、職員との信頼関係はとても大切なもの、いわば生活、人生のパートナーだと思うからです。

さやかの利用者が年をとっても、障害が重くなっても、今の生活を続けていけるようにしたい、と強く思います。

令和2年の今、新型コロナウイルスに対する感染防止について緊急事態宣言がだされ、利用者を守るために施設としても感染防止に取り組んでいます。福祉施設としての感染防止対策は今までも取り組んできたものの、今、集団感染がおこることは、利用者のみならず、家族、施設職員、施設に関わる人、それぞれの命、生活、また施設存続自体が危うくなる危険性をはらんだものであると再認識しています。他県の高齢者施設や障害者施設で起こった集団感染により、大切な命が奪われ、日常生活を奪われ、感染者がでたということで差別を受けるという現実には胸が痛みます。日々の生活を安心しておくことができることがどんなに大切なことなのか、を思います。いうまでもなくそこには仲間、支援者、親という人と人とのつながりがあり、支えになっているのです。

どんなときにも、さやかに集う障害者に寄り添い、希望を持って進みたいと思います。力を尽くし、頑張りましょう。

令和2年（2020年）05月01日